

不登校から考える未来の学び

文部科学省が公表した「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」によると、小・中学校における不登校児童生徒数は299,048人（前年度244,940人）であり、前年度から約22%増加し、過去最多となった。

不登校児童生徒をめぐる課題は、現在及び未来の「学校」を考える上で、多くの問題を投げかけている。アウトリーチの充実や教育DX（デジタル・トランスフォーメーション）によって、不登校の課題は解決していくのであろうか。

第18回セミナーでは、「不登校から考える未来の学び」のテーマのもと、講演とシンポジウムを通して、不登校の問題に迫るとともに、改めて生徒指導・教育相談の意義と重要性について考える。

<日 時> 令和5年12月16日（土）13時00分～16時00分

<方 法> 対 面: 北海道教育大学札幌駅前サテライト
札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo 55 4階
オンライン: Zoom

<プログラム>

13:00～13:05 開会挨拶

後藤泰宏（北海道教育大学・理事、未来の学び協創研究センター長）

13:05～14:20 講 演

「不登校から考える未来の学び ～アウトリーチの現場から～」

講師 藤崎育子 氏（開善塾教育相談研究所・所長、平成27～令和元年度
文部科学省「不登校に関する調査研究協力者会議」委員）

14:30～16:00 シンポジウム

「今だからこそ再発見！ 教師の生徒指導力・教育相談の力とは」

パネリスト

藤崎育子 氏（開善塾教育相談研究所 所長）

伊藤伸一 氏（北海道教育庁学校教育局 生徒指導・学校安全担当局長）

コーディネータ

赤間幸人（北海道教育大学・特任教授）

<参 加> 無料

<定 員> 対面40名、オンライン200名

<申 込> 事前申込が必要（令和5年12月13日（水）までに申込）
以下のURLもしくは右のQRコードより登録してください。
<https://forms.gle/46DaDcpXhF7t6EgPA>

事前に申し込まれた方には、セミナー前日までに、オンライン参加のためのミーティングURL等をメールでお送りします。多くの方のご参加をお待ちしております。



<問い合わせ>

北海道教育大学（担当：赤間）

Mail: akama.yukihito@s.hokkyodai.ac.jp Tel: 011-778-0911